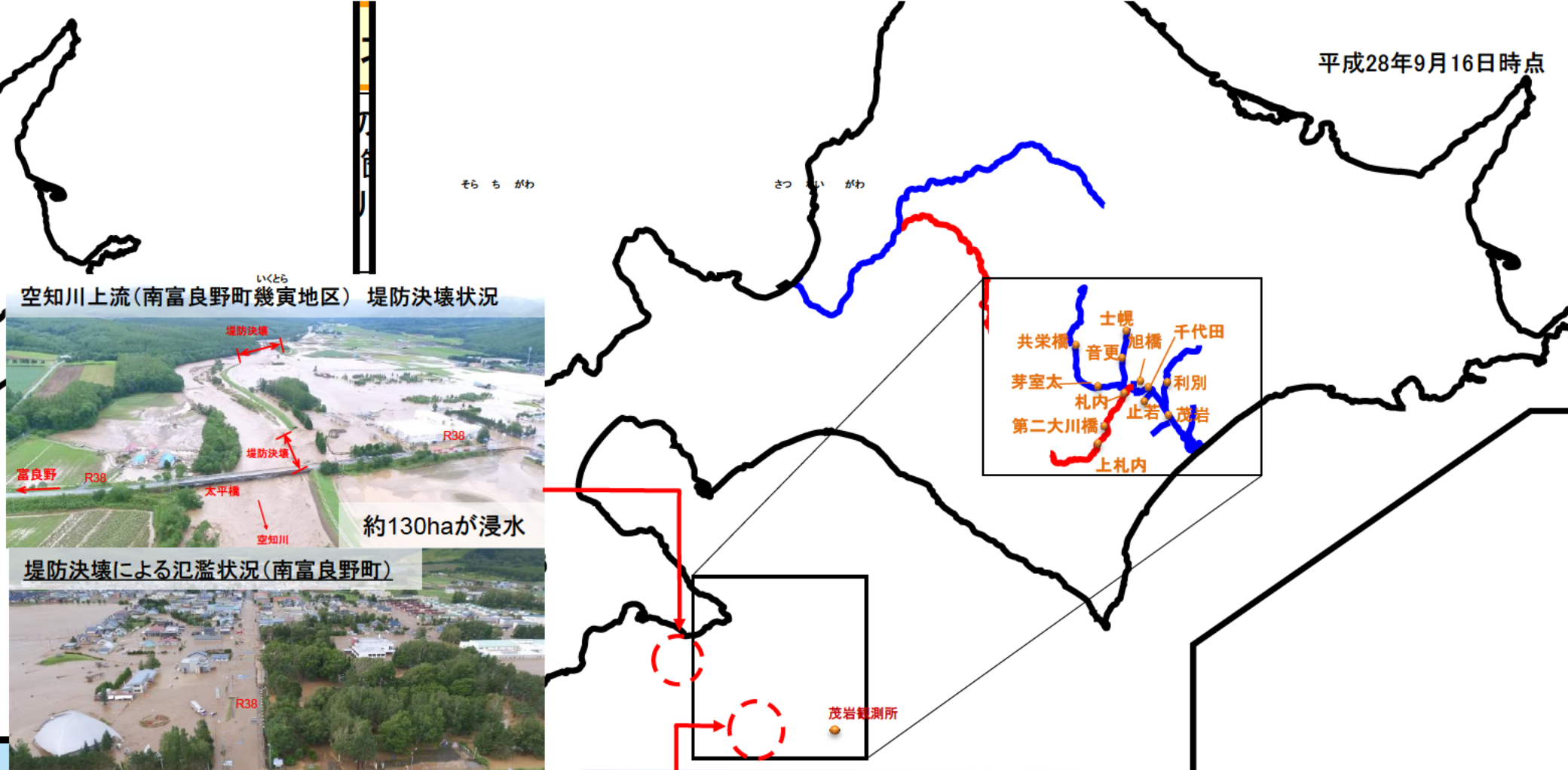


台風第10号による被害と対応

平成28年9月

国土交通省 水管理・国土保全局

平成28年9月16日時点



空知川上流(南富良野町幾寅地区) 堤防決壊状況



堤防決壊による氾濫状況(南富良野町)



札内川(帯広市)堤防決壊状況



ソーラー発電施設に流木が堆積した様子



北海道内における被害状況【道管理河川】

平成28年9月16日時点

- 台風第10号による大雨の影響により、道管理河川の5水系8河川において、計画高水位を超過。
- この大雨により、十勝川水系芽室川、戸蔦別川及び斜里川水系幾品川で堤防が決壊する等、7水系18河川において浸水被害が発生。

石狩川水系:2河川
【床下浸水24戸_床上浸水5戸_
浸水面積約69ha】

湧別川水系:2河川
【浸水面積約20ha】

斜里川水系:2河川
【浸水面積約66ha】

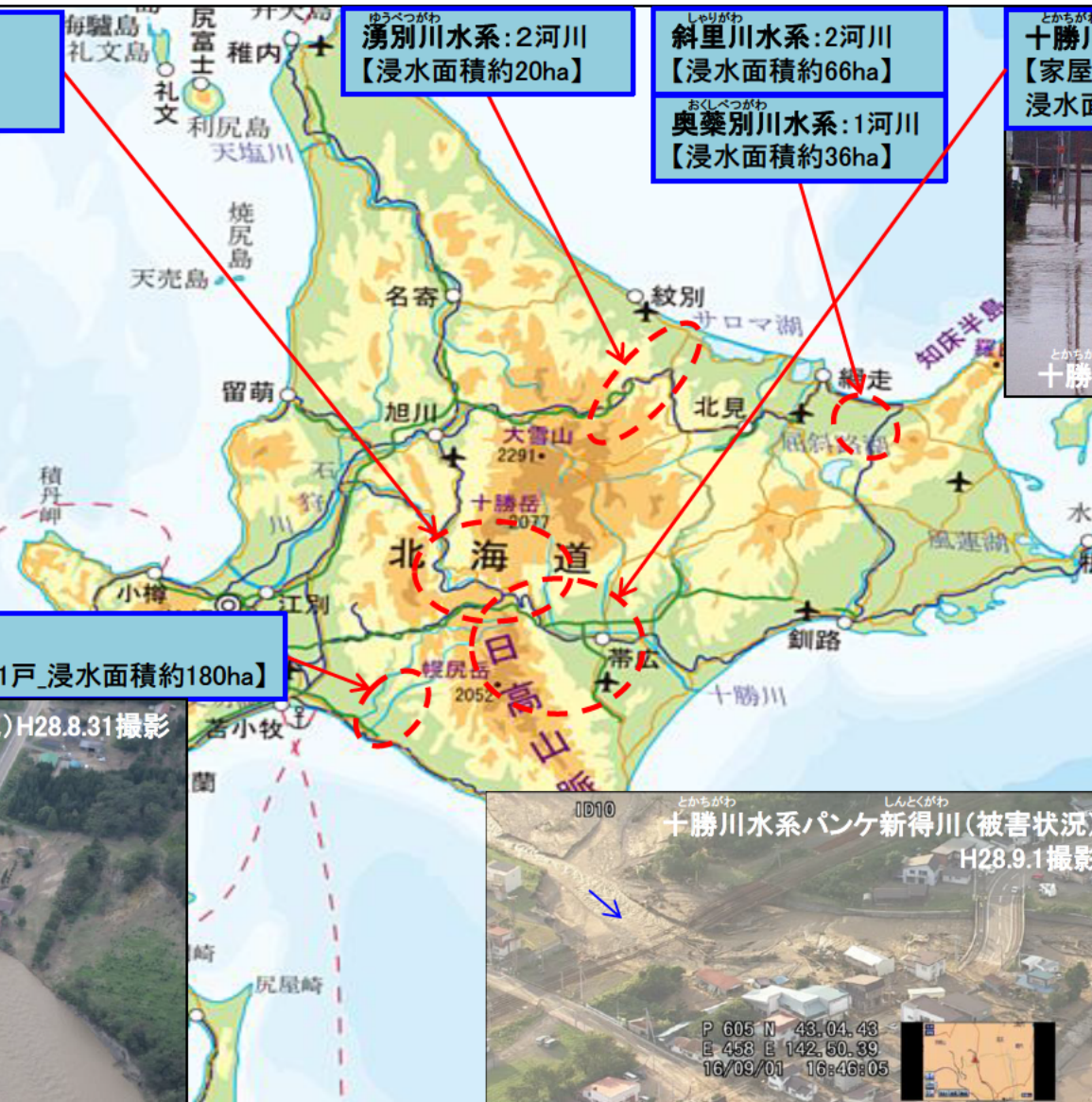
奥釧路川水系:1河川
【浸水面積約36ha】

十勝川水系:9河川(調査中)
【家屋流出3戸_床上浸水1戸_床下浸水259戸
浸水面積約406ha】



沙流川水系:1河川
【床下浸水12戸_全壊1戸_半壊1戸_浸水面積約180ha】

沙流川水系沙流川(被害状況)H28.8.31撮影



北海道における被害への対応と復旧状況

平成28年9月12日時点

- 国管理河川では、空知川、札内川、音更川の2水系3河川5箇所において緊急復旧工事を実施。9月7日までに全箇所の工事を完了。
- 北海道開発局、関東・中国・四国地整から8市町村にTEC-FORCEを派遣。被災状況調査を実施し、首長等に調査結果を報告するなど技術的支援を実施。

TEC-FORCEによる被災状況調査(清水町)



ベケレベツ川付近で流失した道路の被災状況を調査



十勝川水系 音更川



十勝川水系 音更川KP21.2左岸の堤防が決壊
8月31日に緊急復旧工事に着手し、9月5日に完了

十勝川水系 札内川



十勝川水系 札内川KP25.0左岸の堤防が決壊
8月31日に緊急復旧工事に着手し、9月7日に完了

石狩川支川 空知川



石狩川水系 空知川KP116.2左岸、KP117.0左岸の堤防が決壊
8月31日に緊急復旧工事に着手し、9月6日に完了

十勝川水系 札内川



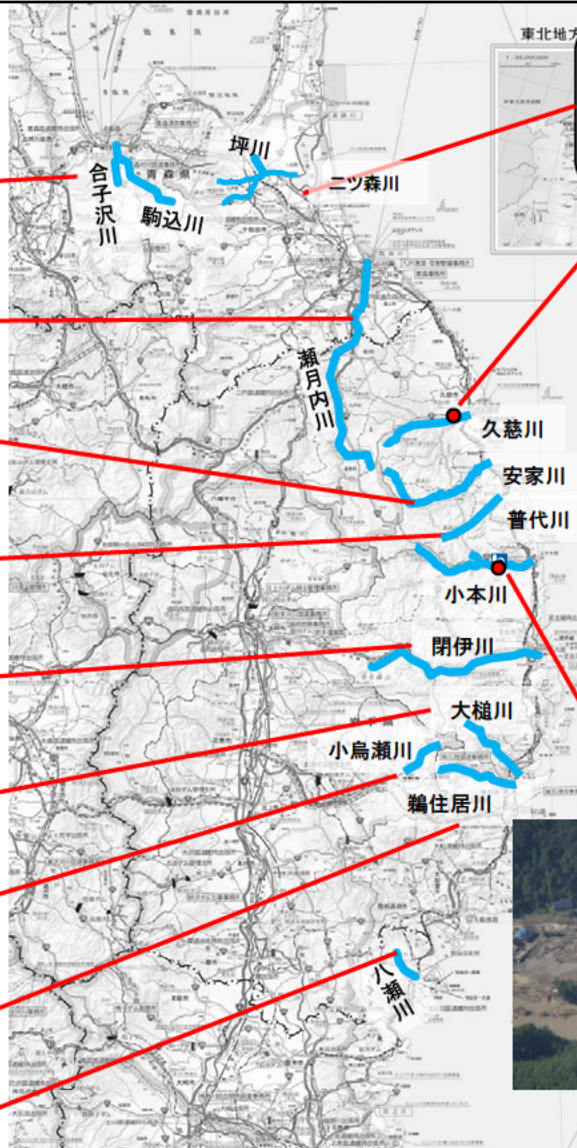
十勝川水系 札内川KP40.5左岸の堤防が決壊
9月1日に緊急復旧工事に着手し、9月7日に完了

東北地方の県管理河川の被害状況

平成28年9月16日時点

- 台風10号による大雨の影響により、県管理河川の14水系17河川において、氾濫危険水位を超過。
- この大雨により、高瀬川水系ニツ森川及び小本川水系小本川で堤防が決壊する等、12水系19河川において浸水被害が発生。

主な被災箇所位置図



駒込川、合子沢川(青森市)
 ・溢水により浸水約0.2ha(ビニールハウス浸水)
 ・溢水により浸水約1.2ha
 (8/31 浸水解消)

瀬月内川(九戸村)
 ・溢水により床下浸水1戸の被害あり
 (8/31 浸水解消)

安家川(岩泉町)
 ・溢水により浸水約10ha、床上浸水70戸、
 床下浸水47戸の被害あり
 (8/31 浸水解消)

普代川(普代村)
 ・溢水により浸水約1ha、床上浸水8戸、
 床上浸水6戸の被害あり(8/31 浸水解消)

閉伊川、長沢川、刈屋川(宮古市)
 ・溢水等により浸水約1.4ha、床上浸水30戸、
 床下浸水10戸の被害あり
 (8/31 浸水解消)

大槌川(大槌町)
 ・越水により床上浸水6戸、床上浸水6戸の
 被害あり(8/31 浸水解消)

小烏瀬川(遠野市)
 ・溢水により浸水約10ha、床上浸水4戸、
 床上浸水13戸の被害あり(8/31 浸水解消)

鶴住居川(釜石市)
 ・溢水により浸水約3.2ha、床下浸水3戸の
 被害あり(8/31 浸水解消)
 ・橋梁流出発生

八瀬川(気仙沼市)
 ・溢水により県道冠水約0.1ha(8/31 浸水解消)

坪川、ニツ森川(七戸町)
 ・坪川では、溢水により農地浸水約15ha
 ・ニツ森川では、堤防決壊により浸水約8ha
 排水ポンプ車(国)1台出動(9/1排水完了・撤収、9/1 浸水解消
 決壊箇所の緊急的な復旧工事完了(9/1)

久慈川、川又川、長内川(久慈市)
 ・越水等により、床上浸水300戸、床下浸水800戸の被害あり
 ・排水ポンプ車(国)2台出動(8/31排水完了・撤収、8/31 浸水解消)



久慈川(右岸)越水状況

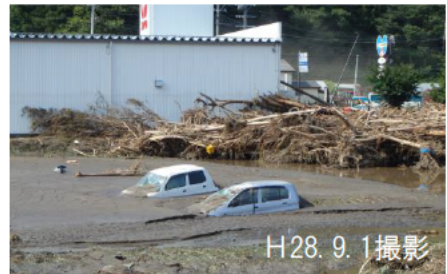


久慈市内 被害状況

小本川、清水川(岩泉町)
 ・溢水・越水・決壊により浸水242ha、床上浸水118戸、
 床下浸水39戸の被害あり



小本川 被害状況①



小本川 被害状況②

小本川の被害概要

平成28年9月16日時点

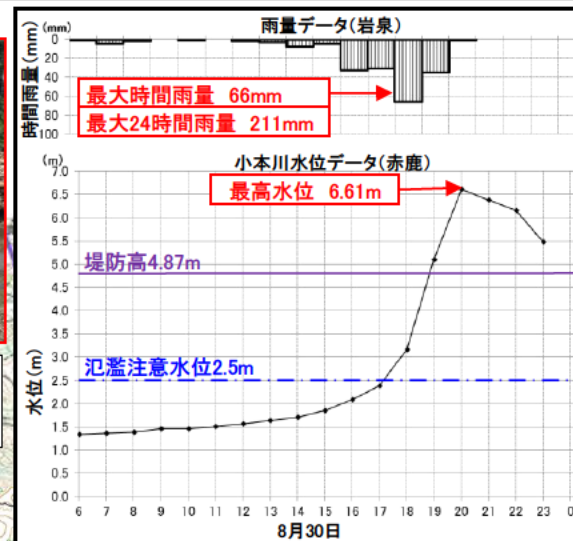
いわいずみちょう おもとがわ しずがわ

- 岩手県岩泉町の小本川と支川清水川において、溢水、越水、決壊により広範囲で浸水が発生。
- これまでに、浸水面積242ha、床上浸水118戸、床下浸水39戸の甚大な浸水被害が生じるとともに、小本川沿川の高齢者福祉施設では、9名の死亡が確認された。

⑤ 流木堆積状況

④ 浸水解消後の流木等散乱状況

③ 流入した土砂による車の埋没状況



道路上に堆積した土砂、塵芥の撤去状況

浸水解消後の車の散乱状況

浸水解消後の流入土砂堆積状況

堤防決壊状況

東北における被害への対応と復旧状況

平成28年9月16日時点

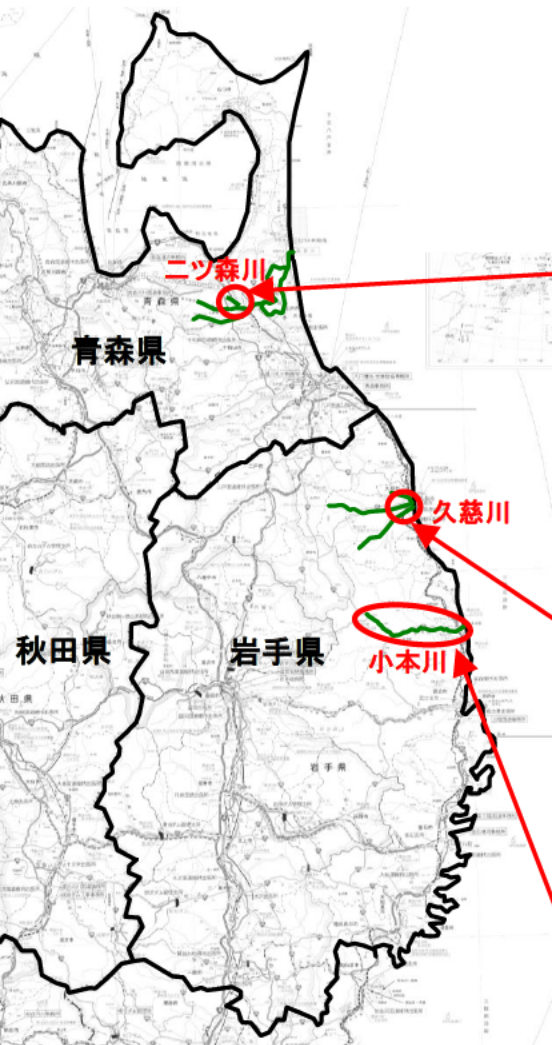
くじがわ

○久慈川では、越水により大規模な浸水が発生したが、排水ポンプ車による排水活動により、早期に浸水が解消。

ふたつもりがわ

おもとがわ

○堤防が決壊したニツ森川及び小本川では、二次災害防止対策として、緊急的な復旧工事を実施。



ふたつもりがわ しちのへまち

ニツ森川(七戸町)

- ・ニツ森川: 堤防決壊により農地浸水約8ha
- ・排水ポンプ車(国)1台出動。9/1排水完了・撤収 (9/1 浸水解消)
- ・決壊箇所の応急復旧完了(9/1)



くじがわ

久慈川(久慈市)

- ・久慈川: 越水により、床上浸水約300戸、床下浸水約800戸の被害あり
- ・排水ポンプ車(国)2台出動。8/31排水完了・撤収 (8/31 浸水解消)



おもとがわ

小本川(岩泉町)

- ・小本川: 溢水・越水・決壊により、床上浸水約100戸、床下浸水約30戸の被害有り
- ・排水ポンプ車(国)2台出動。8/31排水完了・撤収
- ・決壊箇所の応急復旧完了(9/7)。



今次水害を踏まえた主な課題と今後の取組

台風10号豪雨災害被害における避難に関わる課題（岩手県岩泉町）

※報道ベースで整理
今後、更なる調査・分析が必要

➤ 小本川は水位周知河川に指定されておらず、 浸水想定区域も公表されていなかった。【県】

（岩手県は、水位周知河川指定に向けて浸水想定区域の検討を行っていたが、東日本大震災に伴う地盤沈下等により、河川指定、区域公表がなされていなかった。）

→

水害危険性の周知の
取組の拡大

➤ 小本川沿川地域で避難勧告が出ていなかった。【市町村】

・県からの情報が首長に伝わっていなかった。

（県土木事務所から町職員へ伝達したが町長へ伝わらなかった。）

（小本川では避難勧告発令の基準を設定しており今回の災害では基準を超えていた。）

・首長に対する技術的な支援がなかった。

（水位の上昇が速く臨機の対応ができなかった。）

→

ホットラインの構築

➤ 避難行動に踏み切れなかった。【施設管理者】

・『避難準備情報』の意味が施設管理者に理解されていなかった。

（今回被災した要配慮者施設では避難マニュアルがなかったため具体的な行動として何をすればよいかわからなかった。）

→

施設管理者への
説明会の開催

➤ 小本川の河川整備が遅れていた。【県】

→

着実な河川整備の推進

水防災意識社会再構築ビジョンの都道府県等管理河川への拡大の取組み ～ 当面の緊急的な対応 ～

今秋に実施

- **都道府県等から市町村への緊急的な注意喚起**
 - ・過去の水害実績等の情報提供
 - ・豪雨災害時に注視すべき河川情報等に関する助言
- **全国都道府県等管理河川担当者会議(仮称)の開催**
 - ・今次水害の実態等、課題の共有、今後の取組方針の説明

来年出水期までに実施

- **全国の要配慮者利用施設への説明会の開催**
 - ・厚労省等の関係機関との連携
 - ・避難を検討する際の河川情報等に関する理解を深める説明会の開催
- **ホットラインの構築(沿川全市町村)**
 - ・洪水時等に沿川市町村長に直接連絡する体制を構築
 - ・地域の実情に応じた伝達方法・留意点を整理したガイドラインを作成・提供
- **協議会における各種取組みの推進**
 - ・総合流域防災協議会を活用するなどにより、県及び市町村等からなる協議会の設置を促進
 - ・浸水範囲の共有、情報伝達方法の確認等、ハード・ソフト対策の一体的・計画的な推進